

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】 特表 2007-502855 (P2007-502855A)
 【公表日】 平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)
 【年通号数】 公開・登録公報 2007-006
 【出願番号】 特願 2006-530541 (P2006-530541)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 17/06 (2006.01)
 A 6 1 P 17/02 (2006.01)
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A
 A 6 1 K 37/02
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 27/02
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 43/00 1 0 5
 C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

クラス III の SLRP の活性を促進する作用物質を含む、血管形成を阻害するための医薬組成物。

【請求項 2】

作用物質がクラス III の SLRP である、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 3】

作用物質が以下の (a)～(f) を含む群より選択される、請求項 1 又は 2 に記載の 医薬組成物：

- (a) オプチシン；
- (b) エピフィカン；

- (c) オステオグリシンとしても知られる、ミメカン；
- (d) 前記(a)～(c)のいずれかのエレメントを含むキメラ分子；
- (e) 前記(a)～(d)のいずれかの改変型；及び
- (f) 前記(a)～(e)のいずれかの生物学的に活性な断片若しくは誘導体。

【請求項 4】

生物学的に活性な断片がN末端断片である、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

生物学的に活性な断片がロイシンリッチリピート断片である、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

誘導体が増加したin vivoでの半減期を有する、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

誘導体がペプチド誘導体である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

誘導体がD-アミノ酸誘導体である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

誘導体がペプチド-ペプチド混成誘導体である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

過剰な血管形成によって特徴付けられる病気を治療及び/又は予防するための、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

病気が癌、乾癬及び創傷治癒を含む群より選択される、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

病気が眼の血管増殖性網膜症である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

血管増殖性網膜症が、増殖性糖尿病性網膜症、‘湿潤型’黄斑変性、又はいずれか他の脈絡膜新生血管若しくは一次硝子体過形成遺残の形成である、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

病気が炎症性の病気である、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

炎症性の病気がブドウ膜炎及び/又は関節炎である、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

クラスIIIのSLRPの活性を促進する作用物質を含む、単球及び/又はマクロファージの過剰な活性及び/又は遊走によって特徴付けられる病気を予防及び/又は治療するための医薬組成物。

【請求項 17】

作用物質が請求項 2～9 のいずれか 1 項に規定される作用物質である、請求項 16 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

オプチシン、オプチシンの改変型、又はそれらの生物学的に活性な断片若しくは誘導体を含む医薬医薬組成物。